

I 実施計画の策定趣旨と位置付け

(5) 前期実施計画の進捗概況と中期実施計画の実施概要

安全でおいしい水道水の供給《安全》

【施策Ⅰ】 水質管理の充実・強化

【施策Ⅱ】 給水装置における水質保持

【前期進捗概況（平成27年度～29年度）】

各事業・取り組みをほぼ計画どおり着実に進めています。これにより重点目標の達成度は概ね100以上となる見込みです。

前期実施計画『安全』における達成度

農薬濃度管理目標達成率

前期目標 (平成29年度)	100
前期見込み (平成29年度)	100
達成度	100.0

■ 前期見込み

□ 前期目標 (100)

貯水槽清掃実施率

前期目標 (平成29年度)	76.8 以上
前期見込み (平成29年度)	78.4
達成度	102.1

総トリハロメタン
濃度管理目標達成率

前期目標 (平成29年度)	100
前期見込み (平成29年度)	100
達成度	100.0

学校施設水飲み水柱の
直結給水化率

前期目標 (平成29年度)	65.0 以上
前期見込み (平成29年度)	64.8
達成度	99.7

残留塩素管理目標達成率

前期目標 (平成29年度)	91 以上
前期見込み (平成29年度)	91
達成度	100.0

臭気強度管理目標達成率

前期目標 (平成29年度)	100
前期見込み (平成29年度)	100
達成度	100.0

前期実施計画の達成度
100以上は目標が達成
された指標値です。



I 実施計画の策定趣旨と位置付け

【中期実施概要（平成30年度～32年度）】

「独自の管理目標による水質管理」では、平成28年度に一時的に目標を下回った残留塩素濃度の管理に関し、抜本的対策に向けて調査・検討を進めます。このほか各事業・取り組みを計画に従って着実に実施し、目標の達成を目指します。

指標項目	前期目標 (平成29年度)	前期見込み (平成29年度)	中期目標 (平成32年度)	後期目標 (平成36年度)
農薬濃度管理目標達成率 (%)	100	100	100	100
総トリハロメタン 濃度管理目標達成率 (%)	100	100	100	100
残留塩素管理目標達成率 (%)	91以上	91	91以上	92以上
臭気強度管理目標達成率 (%)	100	100	100	100
学校施設水飲み水柱の 直結給水化率 (%)	65.0以上	64.8	70.0以上	75.0以上
貯水槽清掃実施率 (%)	76.8以上	78.4	77.3以上	78.0以上

新潟市独自の管理目標値

区分	項目	国が定めた 水質基準値等	本市が独自に 設定する管理目標値
安全性	農薬類	1以下	0.1以下
	総トリハロメタン	0.1 mg/L以下	0.05 mg/L以下
おいしさ	残留塩素	1 mg/L以下	0.5 mg/L以下
	臭気強度	3以下	2以下

法令検査

独自検査



水道GLPを取得しています。

水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）は、公益社団法人日本水道協会が水質検査の信頼性を確保するために定めた制度です。新潟市水道局は、平成18年に全国で7番目に取得しています。

I 実施計画の策定趣旨と位置付け

強靱な施設・体制による給水の確保《強靱》

【施策Ⅲ】 水道施設の計画的更新

【施策Ⅳ】 災害対策・体制の強化

【前期進捗概況（平成27年度～29年度）】

「浄配水施設の計画的更新」では、阿賀野川浄水場及び配水場の施設整備事業を計画に従って着実に進めています。

「管路施設の計画的更新」では、基幹管路の更新を重点的に進めています。

しかし、更新箇所の多くが市街地であり、交通規制などにより夜間工事が主となることや工事経費率の想定以上の上昇等により、工事費が著しく増高しています。

また市街地工事における調整事項は多岐にわたり、これに一定期間を要するとともに、工事自体も推進工法を必要とされる場合があるなど困難化し、各工事期間が長期化しています。

施設の耐震化は施設更新に併せて行っていますが、この他の震災対策として、水道事業体や複数の民間企業と災害時応援協定を締結し、対策の強化を図るなどしました。

これらにより施設の整備に係る重点目標の達成度は、浄配水施設についてはほぼ100となるものの、管路の整備に係る達成度については、管路更新率が目標を大きく下回り、これに関連した老朽化管路率及び耐震適合率等とともに100を下回る見通しです。

前期実施計画『強靱』における達成度

■ 前期見込み

□ 前期目標（100）

小ブロック構築率	
前期目標 (平成29年度)	93.3 以上
前期見込み (平成29年度)	81.5
達成度	87.4

老朽化浄水施設率	
前期目標 (平成29年度)	0.0
前期見込み (平成29年度)	0.0
達成度	100.0

老朽化設備率	
前期目標 (平成29年度)	20.0 以下
前期見込み (平成29年度)	20.9
達成度	95.7

基幹管路更新率（期間平均）	
前期目標 (平成29年度)	1.58 以上
前期見込み (平成29年度)	1.29
達成度	81.6

浄水施設耐震率	
前期目標 (平成29年度)	19.9 以上
前期見込み (平成29年度)	19.9
達成度	100.0

管路更新率（期間平均）	
前期目標 (平成29年度)	0.90 以上
前期見込み (平成29年度)	0.61
達成度	67.8

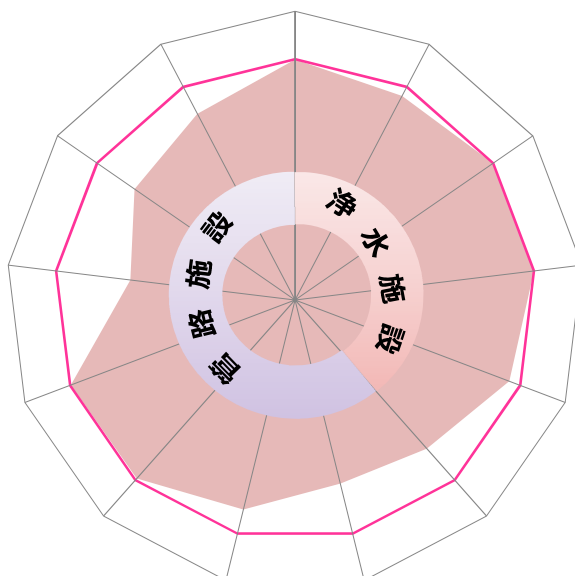
ポンプ所耐震施設率	
前期目標 (平成29年度)	95.9 以上
前期見込み (平成29年度)	95.9
達成度	100.0

基幹管路耐震適合率	
前期目標 (平成29年度)	62.1 以上
前期見込み (平成29年度)	62.2
達成度	100.2

配水池耐震施設率	
前期目標 (平成29年度)	75.6 以上
前期見込み (平成29年度)	72.0
達成度	95.2

管路耐震適合率	
前期目標 (平成29年度)	68.5 以上
前期見込み (平成29年度)	68.0
達成度	99.3

老朽化管路率	
前期目標 (平成29年度)	3.3 以下
前期見込み (平成29年度)	4.0
達成度	82.5



鉛製給水管率	
前期目標 (平成29年度)	5.2 以下
前期見込み (平成29年度)	5.8
達成度	89.7

老朽化基幹管路率	
前期目標 (平成29年度)	3.3 以下
前期見込み (平成29年度)	4.2
達成度	78.6

I 実施計画の策定趣旨と位置付け

【中期実施概要（平成30年度～32年度）】

浄水施設については、計画に従って阿賀野川浄水場及び配水場の施設整備事業を実施し、阿賀野川浄水場は平成31年度に、配水場は平成32年度に計画どおり完了する見込みです。

戸頭浄水場及び巻取水場・浄水場の施設整備事業は効率性の観点から工程を見直し、開始年度を、戸頭浄水場については、次期中長期経営計画（平成37年度～）の期間中、巻浄水場については、後期初年度の平成33年度に変更しました。

管路施設については、前期期間での課題を踏まえて整備内容の見直しを図りながら、引き続き基幹管路の更新を重点的に進めます。

災害対策では、「大ブロック間の相互連絡管の整備」においては、南山配水場施設整備の検討を踏まえ新たに青山浄水場高区系幹線整備に着手し、「重要施設向け配水管の耐震化」においては、管路の耐震適合性、老朽度の再評価及び施設の移築計画等を踏まえて対象施設を見直しました。

他の事業・取り組みの一部についても、内容の充実・強化や現況に合わせた見直しを行い、目標の達成を目指します。

指標項目	前期目標 (平成29年度)	前期見込み (平成29年度)	中期目標 (平成32年度)	後期目標 (平成36年度)
老朽化浄水施設率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0
老朽化設備率 (%)	20.0以下	20.9	15.0以下	10.0以下
浄水施設耐震率 (%)	19.9以上	19.9	47.8以上	100.0
ポンプ所耐震施設率 (%)	95.9以上	95.9	95.9以上	100.0
配水池耐震施設率 (%)	75.6以上	72.0	78.5以上	100.0

指標項目	前期目標 (平成29年度)	前期見込み (平成29年度)	中期目標 (平成32年度)	後期目標 (平成36年度)
老朽化管路率 (%) ※	3.3以下	4.0	2.2以下	0.9以下
老朽化基幹管路率 (%) ※	3.3以下	4.2	1.9以下	0.0
鉛製給水管率 (%)	5.2以下	5.8	3.6以下	2.0以下
管路耐震適合率 (%) ※	68.5以上	68.0	70.8以上	73.7以上
基幹管路耐震適合率 (%) ※	62.1以上	62.2	65.9以上	72.7以上
管路更新率(期間平均) (%) ※	0.90以上	0.61	0.89以上	0.87以上
基幹管路更新率(期間平均) (%) ※	1.58以上	1.29	1.69以上	1.86以上
小ブロック構築率 (%)	93.3以上	81.5	95.6以上	100.0

※ 更新済、整備済の管路延長は、発注を基準とし竣工予定延長を含め算出するため、「水道事業ガイドライン」((公社) 日本水道協会) 及び「経営比較分析表」(総務省) において公表している値とは異なります。



水道施設の計画的更新

水道施設の計画的耐震化

I 実施計画の策定趣旨と位置付け

環境の変化に柔軟に対応した健全な事業運営の持続《持続》

- 【施策Ⅴ】 経営基盤の強化
- 【施策Ⅵ】 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握
- 【施策Ⅶ】 技術・知識を有する人材の確保と育成
- 【施策Ⅷ】 環境に配慮した事業運営

【前期進捗概況（平成27年度～29年度）】

「業務効率化に向けた民間委託の検討・実施」では平成29年度から料金等収納業務を委託化し、これに伴う「定員の適正化」を図りました。また、一部の基幹業務を除くほぼ全ての業務を対象に、委託可能性について点検を進めています。

「遊休資産の有効活用」では、太陽光発電事業者への土地の有償貸付について、国の電力買取制度の見直しによる予定事業者の辞退により既存計画が頓挫しましたが、改めて本市が締結するパートナーシップ協定に基づき、小規模太陽光発電事業者への土地貸付を開始します。

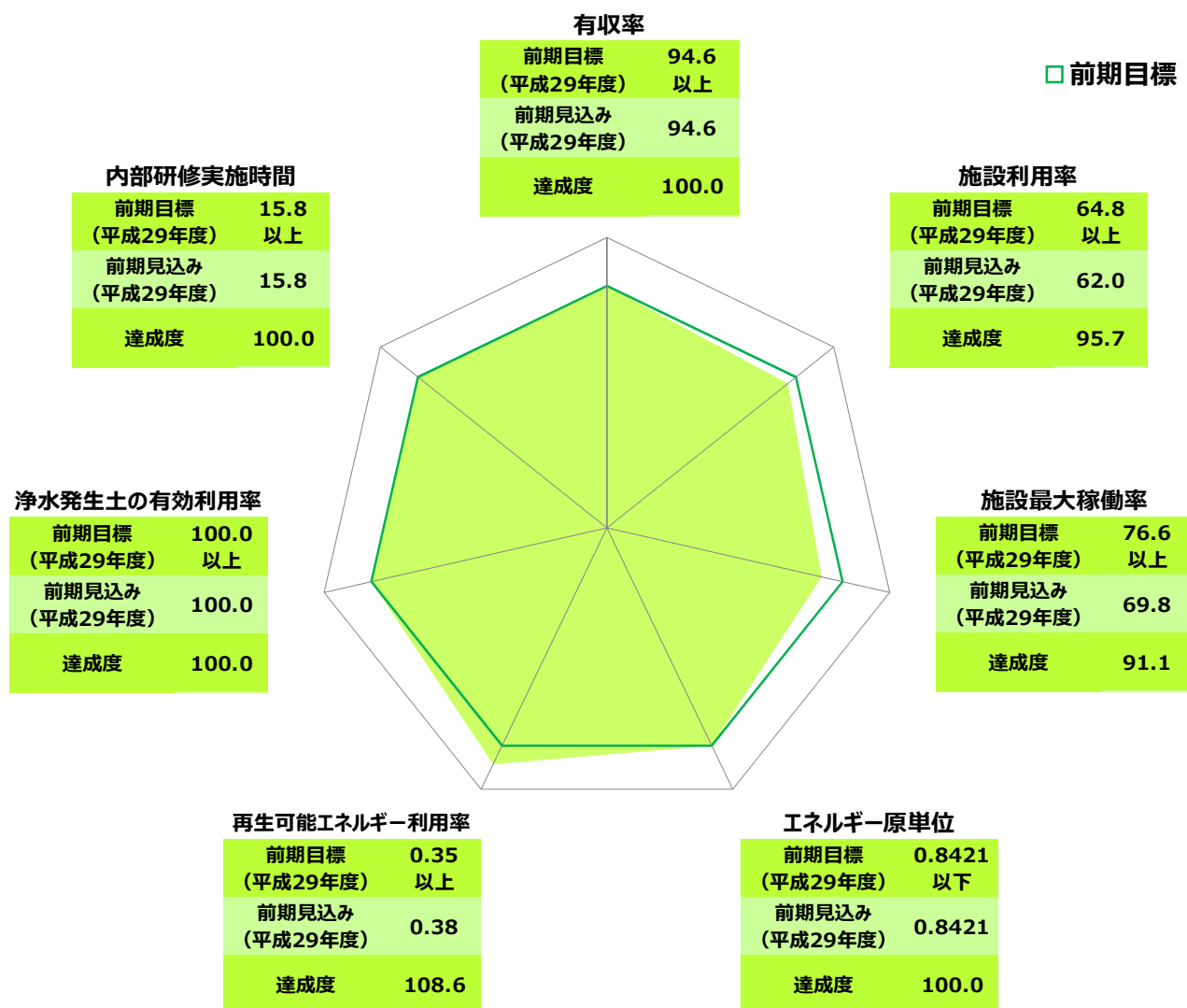
このほかの各事業・取り組みはほぼ計画どおり着実に進めています。

重点目標の達成度について、有収率、施設利用率及び施設最大稼働率は平成29年度の配水量実績が気候条件等により影響を受けるため、現時点で有効な見通しが示せませんが、このほかの目標についてはほぼ100以上となる見込みです。

前期実施計画『持続』における達成度

■ 前期見込み

□ 前期目標（100）



I 実施計画の策定趣旨と位置付け

【中期実施概要（平成30年度～32年度）】

「アセットマネジメントによる適正な資産管理」では、実績を踏まえた今後の施設更新需要を継続的に把握しながら、現行マスタープラン後の長期的な施設整備計画における更新見通しを検討し、これを踏まえて後期実施計画を策定します。

このほか、「諸外国との水道技術研究交流」では、新たに大学との連携により外国人留学生のインターンシップの受け入れを開始するなど、一部の事業・取り組みについて内容の充実・強化や現況に合わせた見直しを行い、目標の達成を目指します。

指標項目	前期目標 (平成29年度)	前期見込み (平成29年度)	中期目標 (平成32年度)	後期目標 (平成36年度)
有収率 (%)	94.6以上	94.6	94.8以上	95.0以上
施設利用率 (%)	64.8以上	62.0	63.4以上	73.5以上
施設最大稼働率 (%)	76.6以上	69.8	75.2以上	87.0以上
エネルギー原単位 (kl/万m ³)	0.8421以下	0.8421	0.8294以下	0.8251以下
再生可能エネルギー利用率 (%)	0.35以上	0.38	0.91以上	1.36以上
浄水発生土の有効利用率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
内部研修実施時間 (時間/人)	15.8以上	15.8	17.8以上	21.0以上

